

## 「グローバル通信」プロトコール講座

### ◆はじめに

プロトコールとは、国際的な、特に公式な、交流の場で、接遇する側とされる側の双方が、不快に感じないための一定の「きまり」であり、経験の中から生み出された外交官の知恵の結晶と言えます。しかしながら、実際の現場では、国旗の掲揚方法、会議や会食の席次など、これまで数え切れないほどの経験がある事項であっても、必ずしも明確な答えが用意されているわけではなく、原則が踏まえつつ、ケースバイケースでの対応が必要になります。

今月号から掲載の「プロトコールに関するQ&A」が、少しでも皆さんのお仕事の一助となれば幸いです。

(平成21年2月 儀典官室)

Q 国旗を取扱う際に注意すべき点を教えてください。

A 国旗の取扱いについては一般的に、

- ① 国旗は国家を象徴して掲揚されるものであり、汚損したものを使用してはならない。
- ② ポールに掲揚する場合、常にポールの最上部に接して掲げなければならない。また、三脚などを使用する場合は、国旗を地面につけてはならない。
- ③ 日本国旗と外国国旗を同時に掲げる場合、大きさ、ポールの高さともに同一とする。
- ④ 自国の国旗を掲げることなく外国国旗のみを掲揚してはならない。
- ⑤ 1本のポールに複数の国旗を掲げてはならない。
- ⑥ 通常、国旗と団体旗は併揚しない。ただし、併揚する場合には、国旗は団体旗よりも大きく、団体旗よりも高く掲揚する。

などの基本原則があると考えられています。また、国家元首の交代などに伴い、図柄等が変更されることがあるため、使用に際しては図柄等について確認することも必要になってきます。

国旗を取り扱う際には、以上のような点に気を配る必要があると考えられます。

(了)